

工事写真報告書

工事番号 平成 29 年度

工 事 名 S 様 邸

工 事 箇 所 外壁・その他 塗装工事

工事住所 北九州市 小倉北区 小文字

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



塀

同上



塀

同上



塀

同上



屋根 漆喰部

現状、クラックはありますが大きな劣化は見られません。

この部分は劣化部のみ補修をおこなっていきます。



屋根 漆喰部

同上



破風・鼻かくし

経年劣化が見られます。

劣化が進むとお住まいの痛みにつながりますので、下地処理をおこない塗装をしていきます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



軒天

同上



軒天

同上



樋

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。

雨戸

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



雨戸

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。





小庇

同上



ライト廻り

同上



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎 クラック部

同上



チョーキング現象

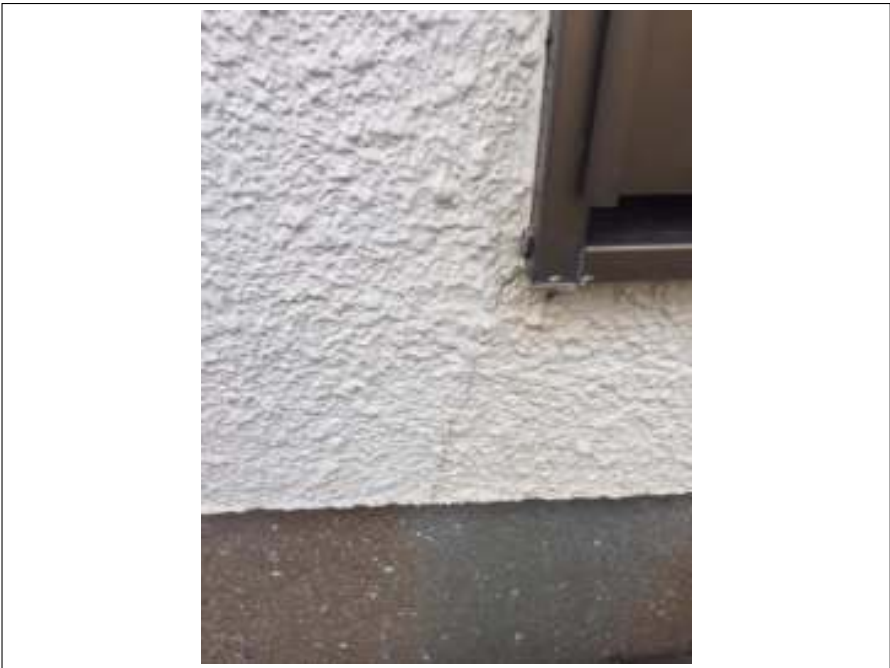
紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 クラック部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修をおこない塗装
をしていきます。



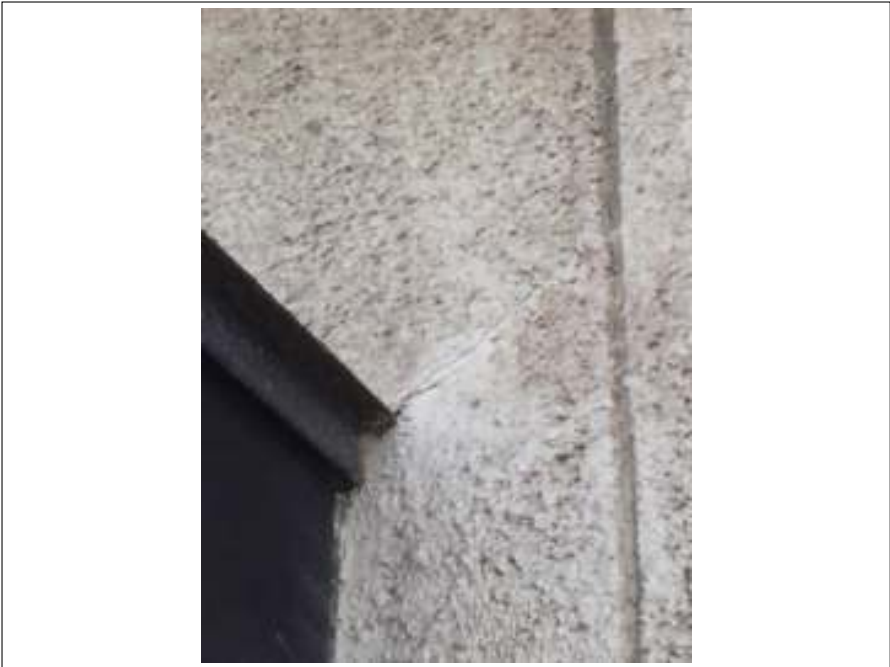
外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



目地 クラック部

同上



外壁 カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



基礎 カビ発生部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

